

一般質問通告書

平成30年第3回議会定例会（平成30年9月）

質問者（7名）

- ① 今井吉男
- ② 西文男
- ③ 外山利章
- ④ 宗村勝
- ⑤ 福井源乃介
- ⑥ 奥山直武
- ⑦ 根釜昭一郎



知名町議会

| | | | |
|---|--------|---------|------------|
| 通告順 | 議席 9 番 | 今 井 吉 男 | 平成30年 9月 日 |
| 1 | | | 時 分～ 時 分 |
| 1. 町制70周年記念関連事業の進捗状況について | | | |
| <p>平成28年11月の町制70周年記念関連3事業の内、遅れている2事業の進捗状況について</p> <p>① 故・弓削政己氏寄贈図書管理状況と一般公開について</p> <p>② 「町誌」続編（仮称）の編纂状況について</p> | | | |
| 2. 「奄美群島国立公園」指定や「アイランドホッピングルート」開設に伴う観光客等、交流人口拡大による町の活性化策について | | | |
| <p>① 平成29年3月7日に「奄美群島国立公園」が誕生、また平成30年7月1日に日本エアコミューター（JAC）が奄美大島～徳之島～沖永良部島～沖縄本島を結ぶ「アイランドホッピングルート」を開設したのに伴い、観光客等の交流人口拡大が期待される。受け入れ体制の充実を図る必要があると考えるが。</p> <p>② 第5次知名町総合振興計画（平成22年度～平成31年度）では、田皆岬展望所整備事業は平成22年度に計画、その後先送りされ、国立公園指定に伴う関連事業で整備するとの答弁でしたが進捗状況は。</p> | | | |
| 3. 水道水の硬度低減化事業導入についての町民アンケート調査結果と事業導入について | | | |
| <p>① 今年6月に実施した水道水の硬度低減化事業導入についての町民アンケート調査結果と町広報紙等による公表について</p> <p>② 町民アンケート調査結果で硬度低減化事業に50%以上の賛成の場合、事業導入時期を早めるのか。</p> | | | |

× ㄗ

A large rectangular area with a solid black border, containing 20 horizontal dashed lines for writing.

| | | | |
|-----|------|-------|------------|
| 通告順 | 議席5番 | 西 文 男 | 平成30年 9月 日 |
| 2 | | | 時 分～ 時 分 |

1. 基盤整備事業、畑かん事業について

- ① 現在町の耕作面積は何ha位で、基盤整備事業の計画面積は何haか又、基盤整備事業は何年度から始まり、完了予定は何年度か。
- ② 今後の基盤整備事業地区計画はどうなっているか。
- ③ 基盤整備完了地区において、畑かん施設の進捗状況はどうなっているか。又、全体の畑かん施設施工同意率はどのくらいか。
- ④ 平成30年度の基盤整備地区同意率は何%になっているか。
- ⑤ 基盤整備事業の国、県、町、受益者の補助を含めた負担率の割合はどうなっているか。

× ㄷ

| | | | |
|-----|--------|---------|------------|
| 通告順 | 議席 2 番 | 外 山 利 章 | 平成30年 9月 日 |
| 3 | | | 時 分～ 時 分 |

1. 空き家の対策および活用について

- ① 適切な管理が行われていない空き家等が防災、衛生、景観の観点から、地域住民の生活環境に影響を及ぼしている。住民の生命・身体・財産の保護、生活環境の保全に向け、本町ではどのような空き家対策がとられているか。
- ② U、Iターンなどの移住希望者や若年層など住宅を求める需要は高いが、慢性的な供給不足により住居の確保が困難になっている。空き家を資源として有効活用できれば人口の流出防止、地域の活性化にも繋がると考えられるが、本町としての取り組みは。
- ③ 高齢化と人口減少により空き家は今後、更に増加することが予想され、国も「空き家等対策推進に関する特別措置法」を制定するなど自治体の対策を後押ししている。本町も総合的な空き家対策と活用に向けた計画策定、体制作りを行うべきだと思うがどのように取り組んでいくのか。

2. 墓地問題について

- ① 町内の墓地の数および管理状況、管理体制など把握しているか。
- ② 少子化時代を迎え、今後墓地の継承、管理が困難になり無縁墓や放置される墓が増えることが考えられる。墓石の不法投棄や危険性の観点からも対策が必要と考えるが、行政としての対応は。
- ③ 墓地問題を行政課題の一つと位置づけ、地域の実情や住民ニーズを把握し、課題解決に向け取り組んでいく必要があると考えるが、町としての考えは。

× ㄗ

| | | | |
|-----|--------|-------|------------|
| 通告順 | 議席 6 番 | 宗 村 勝 | 平成30年 9月 日 |
| 4 | | | 時 分～ 時 分 |

1. 宴会時の乾杯条例制定の提案について

宴会等における乾杯を地元産の黒糖焼酎で乾杯する事により黒糖焼酎の消費拡大を図り地元企業の発展や町民の黒糖焼酎に対する意識高揚に努めるべきではないか。

2. 道路整備について

- ① 瀬利覚農道（黒貴～大山）の整備計画の今後のスケジュールについて問う。
- ② 赤嶺字の町道勘納線は字民が農地の往復や墓参り等に利用する重要な路線であるが、凹凸が激しい為に不便をきたしている。特に高齢者は、シニアカーを利用するために危険である。早期の舗装工事を望む。
- ③ 上城小学校正門前の交差点を将来の計画をふまえロータリー式の交差点にする事により事故を減らせるのではないか。

3. 農業振興について

- ① 馬鈴薯、サトイモ、豆類等の出荷時に規格外の農産物が大量に廃棄処分されているのが現状である。そのように廃棄処分されている農産物の利用法はないか。

メ モ

| | | | |
|--|-------|--------|------------|
| 通告順 | 議席10番 | 福井 源乃介 | 平成30年 9月 日 |
| 5 | | | 時 分～ 時 分 |
| 1. 命の源・大山のあり方について | | | |
| <p>松枯れによって荒廃感があった大山も、草木や雑木が生い茂り少しずつ緑の豊かさを取り戻してきています。先の6月議会で要望しました、大山の保全・育成・活用等について長期的な視野に立った大山の在り方についてどう考えていますか。また、初代林業技師である花房宗呈氏、2代目本部中廣氏をはじめ、大山町有林の育成・管理に功績のあった方々について、その功績を後世に伝える事も必要ではありませんか。</p> | | | |
| 2. 町民総兼業農家構想の推進について | | | |
| <p>町民総兼業農家構想は、地産地消・自給自足・特産品の開発等を推進するための政策提案であります。家庭菜園の普及拡大・自家生産野菜の出荷など島内経済の循環を考えるべきであります。そこで、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 非農家に菜園を確保するため、例えば知名町開発公社が全集落に農地を借り受けて貸し出す仕組みができないか。(10aを5人に年間6千円・10人に年間3千円) ② 台風で船便が欠航し、物流が止まれば、商店の棚がガラガラになる現状から、島内産の比率を上げることが必要であります。少量多品種栽培を推奨し、有望なものについては新規品目として生産につながるのではないか。 ③ 酔庵塾の皆さんが提唱する、サスティナブルアイランド構想(環境に配慮した持続的な島の暮らし)は、まず、野菜作りから始め、米作りからエネルギーまで自足するというもの。町民総兼業農家構想は、入りの部分であります。サスティナブルアイランド構想について、どう考えていますか。 | | | |
| 3. 首都圏へのアンテナショップ開設について | | | |
| <p>鹿児島事務所の閉鎖後、東京・大阪へのアンテナショップの開設は考えていませんか。町長の新発想、金の稼げる役場を実現するため検討すべきではありませんか。一時的な特産品フェアではなく、常設販売・新たな情報発信の拠点にするべきではありませんか。</p> | | | |

メ モ

| | | | |
|-----|-------|------|------------|
| 通告順 | 議席11番 | 奥山直武 | 平成30年 9月 日 |
| 6 | | | 時 分～ 時 分 |

1. 防災器具関連について

- ① 全国で腐食や傷等ある消火器の破裂事故で負傷者がでていと報道されておりますが、町内での事故等の報告はないか。
- ② 消火器の設計標準使用期限は製造より10年となっております。又、腐食や傷等の状態の消火器が多数みつけられるが、今後、どのように対処するのか。
- ③ この数十年間、腐食、傷等がある消火器の回収はないが今後、消防団と協力し各家庭の消火器を点検確認して、危険と判断した消火器の回収はできないか。
- ④ 消火器の屋内での使用期限は10年、船舶用は8年となっておりますが、期限年数がすぎても容器の状態が良ければ中味の入れ替えができますが、入れ替えのできる業者は町内に何業者あるのか。
- ⑤ 火災報知器について、現在、新築建物には義務付けられているが既存の古民家や一般家庭への普及率は町全世帯の何割なのか。
- ⑥ 我が芦清良集落では、6～7年前に消防団員の協力をもって購入、設置しましたが、その後の点検等は高齢者が多くできてない状態である。町内世帯も同様なことだと思うので町消防団と協力し器具点検、電池交換の重要性を知らすことはできないか。

2. 障がい者雇用関連について

- ① 現在、隣島、徳之島町で障がい者雇用の為の水耕栽培施設徳之島植物工場「神田福祉農園」が稼働されて15名の方が仕事によるこんで従事しているとのこと。我が知名町でもそのような施設等を導入し障がい者の皆さんを雇用できないか。

3. フローラルパークのグラウンドゴルフ場について

- ① グラウンドゴルフ場の拡張の構想はあるのか。あるとすればいつ頃の予定か。
- ② グラウンドゴルフ場に夜間照明の設置はできないか。
- ③ グラウンドゴルフ場のAコートのダート（土コート）が波うっている状態であり整地の必要があると思うが、早急に手直しの工事はできないか。

メモ

| | | | |
|-----|------|--------|------------|
| 通告順 | 議席3番 | 根釜 昭一郎 | 平成30年 9月 日 |
| 7 | | | 時 分～ 時 分 |

1. 小型焼却炉の導入の提言と関連する諸問題について

昨今、海洋ごみ問題、プラスチックごみ問題が大きく取り上げられることが多くなっておりますが、本町（本島）におきましても、冬場は海流の影響で特に東シナ海側の海岸、台風後は全ての海岸が漂流・漂着ゴミでいっぱいになります。関連問題についていくつかお尋ねします。

- ① 現在、各種ボランティア団体の活動等で、きれいな浜が維持されている。しかしながら、ごみの分別等を各自で行っているため、非常に危険である。小型焼却炉の導入による分別の簡素化は考えていないのか。
- ② 漂流・漂着ゴミは、焼却処理、埋め立て処理をしていると思いますが、近年は膨大な量になっているので、焼却炉に多大なる負荷が掛かっていると思われます。埋め立てにしても環境にも配慮していかなくてはいけないので、それぞれの対策としても、小型焼却炉の導入は有効ではないか。現在、検討している対策と併せてお答えください。
- ③ 本町は農業立町であります。しかしながら、農業廃棄物の処理は離島であるが為、処分費用がかさみ農家経営を圧迫している。また、不法投棄等の要因にもなっている。この対策としても小型焼却炉の導入は有効ではないか。現在の処理費用、助成金額等と併せてお答えください。
- ④ 越山の焼却炉の導入年月日、耐用年数、今後の計画について説明を求めると共に、長寿化対策としても小型焼却炉の導入は有効だと考えるがどう思うか。

2. 公共施設の長寿命化計画の見直しの進捗状況について

新庁舎建築の話題が出る一方で、公共施設の全体的な老朽化、長寿命化等が懸念される状況が本町にはあります。そこで、長寿命化計画の見直しの進捗状況についていくつかお尋ねします。

- ① 今年度中で公共施設の長寿命化計画の見直しを行う予定であったと思うが、まず、点検を行ったのかどうか。点検時期、方法について説明を求めます。これからであればその時期、方法についてお尋ねします。
- ② 点検の結果、大幅な見直し等があったのか。現段階の状況の説明を求めます。

× ㄗ